

平成16年度版

# 河川水辺の国勢調査マニュアル(案)

(河川空間利用実態調査編)

監修 国土交通省河川局

発行 財団法人リバーフロント整備センター

## 「河川水辺の国勢調査マニュアル(案)」について

近年、河川環境に対する国民の関心は極めて高く、保全から利用までその要請も極めて多様化している。このような情勢を踏まえて、建設省では従来より各種の調査を実施するとともに、多自然型川づくり等の施策を推進しているが、21世紀に向けて、より安全で潤いのある豊かな河川を創造していくためには、今後なお一層河川環境に配慮した川づくりの推進が必要である。

このため、建設省では、全国の1級水系および2級水系(ダム区間を除く)について、河川事業、河川管理を適切に推進するため、河川を環境という観点からとらえた定期的、継続的、統一的な河川に関する基礎情報の収集整備を図る「河川水辺の国勢調査」を実施することにした。

この「河川水辺の国勢調査マニュアル(案)」は、「河川水辺の国勢調査」実施のための具体的方法をまとめたものであるが、「河川水辺の国勢調査」は緒についたところであり、調査の方法についてもなお検討すべき点が残されていることから、本マニュアル案は当分の間(案)として試行し、今後現地での調査経験や関係の方々からのご助言等を得て、随時必要な改訂を行い、より適切なものとしていくこととしている。

平成5年4月

## 改訂経緯

平成2年6月 河川空間利用実施実態調査編初版作成

平成3年6月 第1回改訂

平成4年4月 第2回改訂

平成5年4月 第3回改訂

平成15年4月 第4回改訂

平成16年3月 第5回改訂

## 目 次

1 . 概要	4
1.1 調査目的	4
1.2 調査対象とする河川	4
1.3 調査の構成	4
1.4 調査時期	4
2 . 河川空間利用実態調査	5
2.1 ブロック区分及び区域区分	5
2.2 調査の方法	6
2.3 調査の留意点	7
2.4 利用場所区分	9
2.5 具体的活動と利用場所・利用形態との関係	9
3 . 調査成果の集計	10
3.1 1日の利用者数の推計	10
3.2 年間利用者数の推計	12
4 . 提出様式	15
4.1 様式の内容	15
4.2 各様式の作成方法	16
5 . 「川の通信簿」	18
< 参考資料 >	
調査票 ( 1 ~ 4 )	20
集計様式 ( A - 1 ~ A - 7 )	24
参考資料 : 水系整理様式 ( D - 1 ~ D - 7 )	32
「河川水辺の国勢調査」実施要領	41

## 1. 概要

### 1.1 調査目的

本調査は、河川事業、河川管理を適切に推進させるため、河川を環境という観点からとらえた基礎データの系統的な収集・整理をはかる『河川水辺の国勢調査』の一環として、河川空間の利用状況の実態を把握することを目的とする。

### 1.2 調査対象とする河川

全国1級水系のうち直轄管理区間（ダムの間を除外）全体を対象とする。

### 1.3 調査の構成

調査は「河川空間利用者数調査」と「川の通信簿」で構成される。ここで、河川空間の利用とは、レクリエーション利用ばかりでなく、生産の場、生活の場として利用を含めたものまで含めて考えるものとする。

本書では河川空間利用者数調査の調査方法および取りまとめ方法について2章～4章にまとめる。川の通信簿の実施方法については別冊「川の通信簿」実施マニュアルを参考のこと。

### 1.4 調査時期

利用者数調査は四季を通じてのべ7回実施し、「川の通信簿」は原則として7月から8月にかけて実施する。

河川空間利用者数調査は、台風、洪水等の異常時あるいは指示があるときは、中止するものとする。調査を中止した場合は、休日に関わるものは直近の休日、平日に関わるものは直近の平日に日延べして実施する。

なお、積雪量の多い地域において冬季の河川空間の利用者がきわめて少ないと判断される河川については、必ずしも冬季の調査を実施する必要はない。

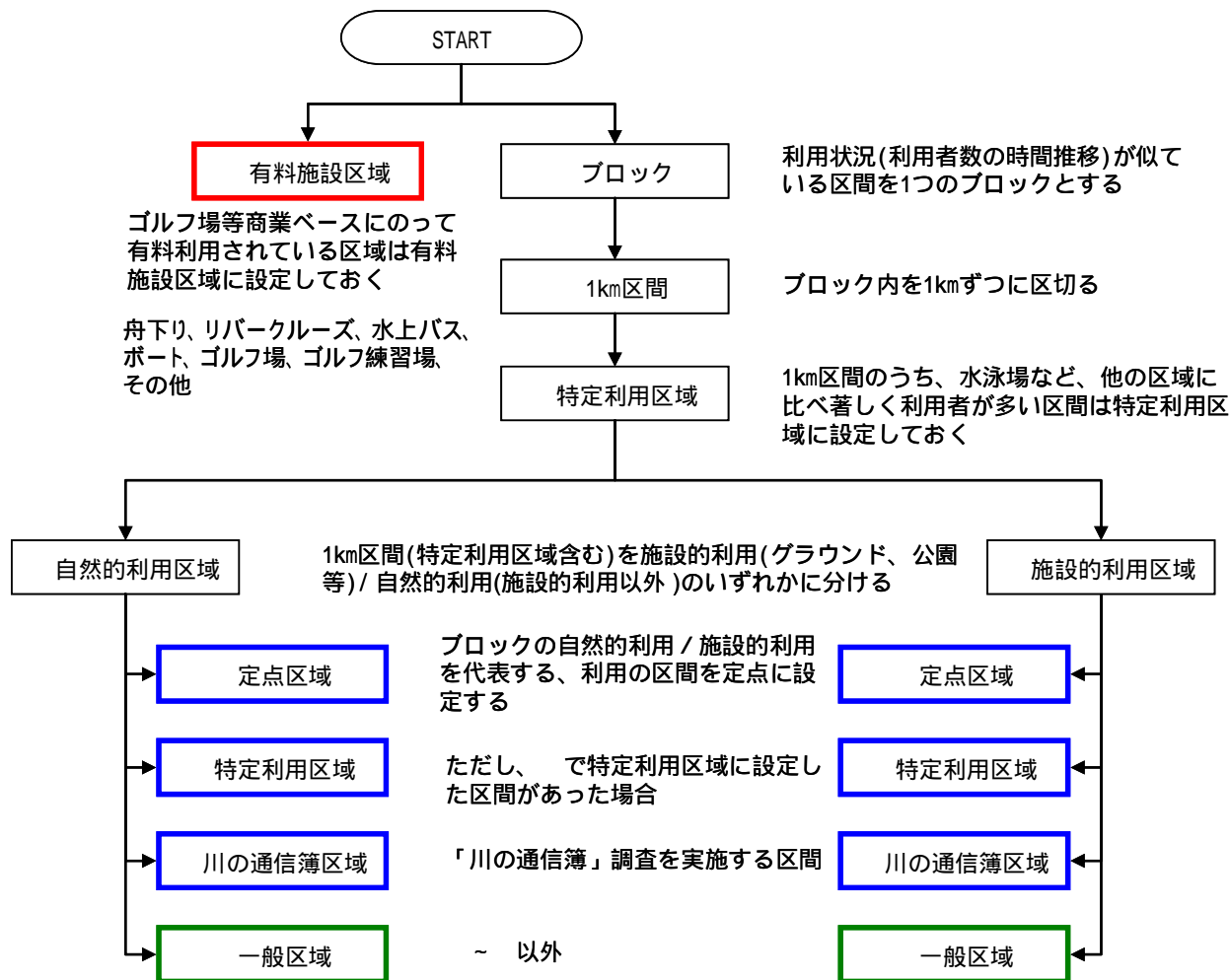
河川空間利用者数調査実施日

季節	実施日	
春季	休日	4月29日（みどりの日）
		5月5日（こどもの日）
	平日	5月の第3月曜日
夏季	休日	7月の最終日曜日
	平日	7月の最終日曜日の翌日
秋季	休日	11月3日（文化の日）
冬季	休日	1月の第2月曜日（成人の日）

## 2. 河川空間利用者数調査

### 2.1 ブロック区分及び区域区分

調査を行うにあたり、調査対象区間を有料施設区域、定点区域、特定利用区域、川の通信簿実施区域、一般区域に分ける。後述(2.2)するように区域に応じた方法で調査を実施する。



ブロック区分及び区域区分




ブロック区分においては、『一般区域の一日利用者数は、同じブロックの定点区域での各時間帯の利用者数を元に推計する』ことを踏まえ、対象区間を適宜ブロック分割する。

ブロック区分、区域区分においては、前回調査以降にグラウンド等集客施設整備や護岸整備等が実施され、河川利用の状況が大きく変貌した場合には適切に見直しを行うものとする。

なお、自然的利用区域については農耕地とそれ以外の内訳が分かるようにしておく。

## 2.2 調査の方法

2.1 で行った区分に応じて、以下の調査を行う。( 図 ブロック区分及び区域区分 参照 )

	: 有料施設調査
	: 定点観測調査
	: 区間観測調査

### ( 1 ) 有料施設調査

商業ベースにのっている有料施設の利用者については、調査日の利用者数を施設管理者に問い合わせ、調査票 1 ( 参考資料参照 ) により調査する。

### ( 2 ) 定点観測調査

定点観測地点では、日の出から日没までの間で 2 時間毎に利用者数のカウントを調査票 2 ( 参考資料参照 ) に従って行う。なお、利用者数が極めて少ないと考えられる時間帯は調査を省いてよい。カウントは利用場所、利用形態ごと ( 2.4、2.5 参照 ) に行う。

### ( 3 ) 区間観測調査

各ブロックの一般区域全体における利用者数を調査員が移動しながら観測し、調査票 3 ( 参考資料参照 ) に従ってカウントを行う。調査は調査日の 1 日の内で 1 回実施する。集計とりまとめは 1 km ピッチに行うので、調査票 3 は、1 km ピッチでの調査を原則とする。但し、前年の調査結果等で利用者数が極端に少ないことが明白な場合は、適宜、調査区間を省く等の判断をしてよいが、集計とりまとめに影響が出ないよう事前に十分検討する。カウントは利用場所、利用形態ごと ( 2.4、2.5 参照 ) に行う。

### ( 4 ) イベント調査

河川の利用状況を把握するために、イベント調査を行う。( イベント調査票 ( 調査票 4 ) ) 本調査は河川管理者や河川利用施設の運営主体などへの聞き取りによって行う。本調査で対象とするイベントは以下の通りとする。

開催時期	: 調査年度前年度の 3 月 ~ 調査年度 2 月
開催時間帯	: 特に定めない
開催規模	: 参加人数が概ね 100 人以上になるもの
種類	: 特に定めない
運営主体	: 特に定めない

調査結果をイベント調査票 ( 調査票 4 ) に記入する。

## 2.3 調査の留意点

### (1) 調査実施日がイベント開催日と重なった場合

定点観測調査及び区間観測調査において、調査実施者の判断で、以下の四通りの方法から適宜選択する。

従来どおり気にせずカウントし、一日利用者数を推計する。

イベント参加者を避けてカウントし、一日利用者数を推計する。

1日の利用者数推計後、イベント参加者の人数を減じ、一日利用者数とする。

調査実施日をイベントが開催されない日に変更する。

ただし、～ を選択した場合は、イベント調査票から1年間の全イベント参加者数の合計を算出し、年間利用者数の推計値に加える。

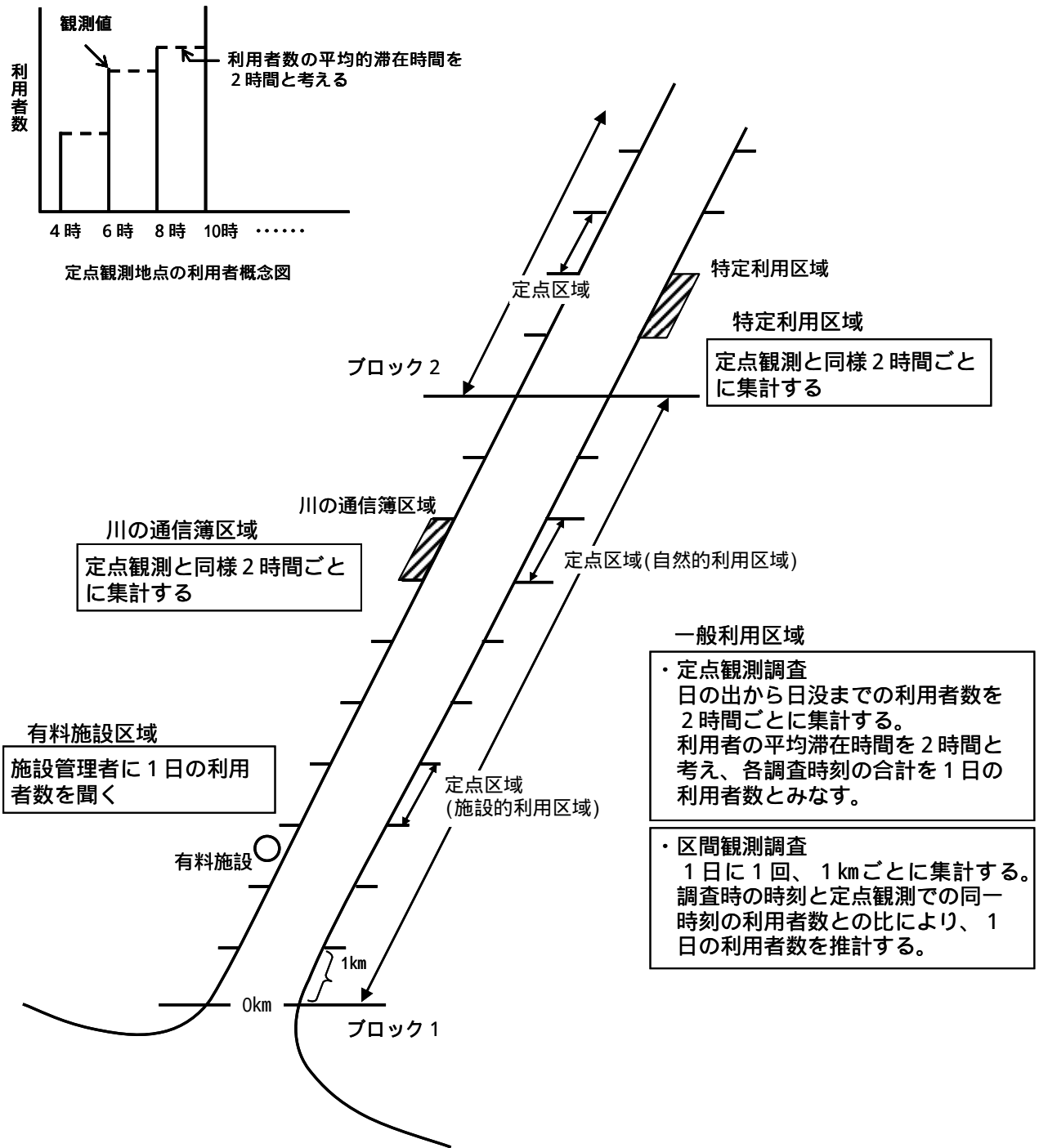
### (2) 区間調査実施にあたっての留意点

- ・調査はできるだけ利用者の多いと考えられる時間帯に実施する。
- ・山付き区間等で調査のための移動が困難な区域にあっては利用形態がほぼ同じと考えられる区間の値より、面積比、延長比等を用いて推定する。

### (3) その他

- ・適宜、河川空間の利用状況を示す写真を、デジタルカメラにて撮影する。
- ・調査票は基本形なので、随時、使用しやすいように変更してもよい。
- ・調査員は、身元が分かるように身分証等を携帯する。

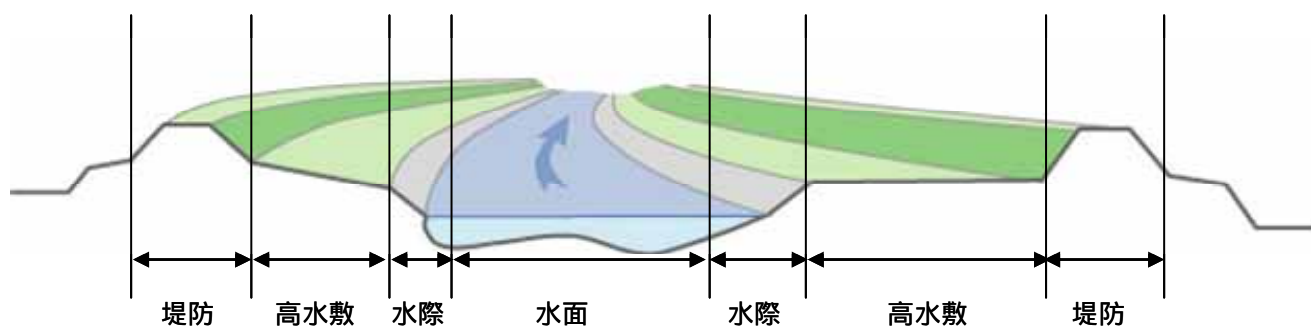




河川空間利用者数現地調査の概要

## 2.4 利用場所区分

調査の実施にあたっては、利用場所を以下のように区分する。



- ・水際と高水敷は低水護岸部を目安として判断する。
- ・水面と水際は利用者の装備(服装、ボート等)を目安に判断する。

## 2.5 具体的活動と利用場所・利用形態との関係

調査の実施にあたっては、利用場所ごとに利用者の活動を以下のように分類する。

利用場所と利用形態		具体的活動
利用場所	利用形態	
高水敷	スポーツ	ランニング、軽い運動、スポーツ、スポーツの観戦、サイクリング、モトクロスなど
	散策・その他	上記以外の利用
水面	水上スポーツ	ウィンドサーフィン、カヌー、ヨット、ジェットスキー、水上スキー、レガッタ、ボートなど
	水泳・その他	水泳、遊覧船、上記以外の利用（釣りは除く）
	釣り	釣り
水際	釣り	釣り
	水遊び・その他	釣り以外の利用
堤防	散策・その他	すべての利用

### 3. 調査成果の集計

#### 3.1 1日の利用者数の推計

1日の集計結果は、1kmピッチ、ブロック別、河川別、水系別、そして地方整備局等の全体の集計までを行う。地方整備局集計では沿川市区町村人口等とともに各地方整備局等全体の集計を行う。

- ア. 1kmピッチでの河川利用者数の集計；項目毎：様式A - 1（参考資料参照）
- イ. 1kmピッチでの河川利用者数の集計；項目合計：様式A - 2（参考資料参照）
- ウ. ブロック集計：様式A - 3（参考資料参照）
- エ. 河川集計：様式A - 4（参考資料参照）
- オ. 水系集計：様式A - 5（参考資料参照）
- カ. 地方整備局集計：様式A - 6（参考資料参照）
- キ. 「川の通信簿」実施箇所利用者数水系集計：様式A - 7（参考資料参照）

1日の利用者数推計にあたっての基本的考え方は次の通りである。

##### (1) 有料施設区域

有料施設調査結果をそのまま用いる。

##### (2) 定点区域

定点区域では2時間毎に利用者数を観測している。利用者の平均滞在時間を2時間と考えて、各観測時刻の利用者数を合計したものを、1日の利用者数とする。

##### (3) 特定利用区域

(2) 定点区域に同じ。

##### (4) 一般区域

同じブロックに属する定点区域での1日の利用者数時間分布と、一般区域での時間分布が同一であると考え、区間観測した時刻と同時刻帯の定点観測の値の比を元に一般区域の1日の利用者数を推計する。

同時刻の利用者数が0の場合は前後の時刻の利用者数の平均値を用いる。前後の利用者数も0の場合は1日の全利用者数との比を用いて推計する。具体的には次頁を参考に係数を算出する。

< 区間観測における利用者数集計例 >

定点観測調査票

場 所	利用形態	調査時刻							合計
		6時～ 8時	8時～ 10時	10時～ 12時	…				
高水敷	スポーツ	A <sub>1</sub>	A <sub>2</sub>	A <sub>3</sub>	…				A <sub>i</sub>
	散策・その他	…	…	…	…				…
水 面	水上スポーツ	…	…	…	…				…
	水泳・その他	…	…	…	…				…
	釣り	…	…	…	…				…
水 際	釣り	…	…	…	…				…
	水遊び・その他	…	…	…	…				…
堤 防	散策・その他	…	…	…	…				…
合 計		I <sub>1</sub>	I <sub>2</sub>	I <sub>3</sub>	…				I <sub>i</sub>

区間観測集計表

区間	区域	利用形態		区 間 観測結果	観測時刻	同一時刻の 定点観測結果	定点観測での 総利用者数	係数	区間一日 利用者数
～ km	自然	高水敷	スポーツ	P <sub>1</sub>	9:00	A <sub>2</sub>	A <sub>i</sub>	A <sub>i</sub> /A <sub>2</sub>	P <sub>1</sub> ×
			散策・その他						
		水 面	水上スポーツ	…					
			水泳・その他						
			釣り						
		水 際	釣り						
			水遊び・その他						
		堤 防	散策・その他						
…									

< 定点観測の利用者数が観測されない場合の係数 ( ) の求め方 >

いま、当該時刻の定点観測利用者数を A<sub>2</sub>、前後の時刻の利用者数を、それぞれ A<sub>1</sub>、A<sub>3</sub> とすれば、係数 ( ) は、次のように求められる。

(1) A<sub>2</sub> = 0 で、A<sub>1</sub> = 0 または A<sub>3</sub> = 0 の場合 .....  $\alpha = \frac{\sum A_i}{(A_1 + A_3)/2}$

(2) A<sub>2</sub> = 0 で、A<sub>1</sub> ならびに A<sub>3</sub> = 0 の場合 .....  $\alpha = \frac{\sum I_i}{I_2}$

(3) A<sub>2</sub> = 0 で、A<sub>1</sub> ならびに A<sub>3</sub> = 0、I<sub>2</sub> = 0 の場合 .....  $\alpha = \frac{\sum I_i}{(I_1 + I_3)/2}$

(4) (A<sub>1</sub>, A<sub>2</sub>, A<sub>3</sub>) = 0 で、(I<sub>1</sub>, I<sub>2</sub>, I<sub>3</sub>) = 0 の場合 ..... = 1.0

### 3.2 年間利用者数の推計

年間7回の各調査日の結果をもとに1年間の利用者数を推計する。

$A_n$  : 1回目調査日(4月29日; 休日)の利用者数

$B_n$  : 2回目調査日(5月5日; 休日)の利用者数

$C_n$  : 3回目調査日(5月第3月曜日; 平日)の利用者数

$D_n$  : 4回目調査日(7月最終日曜日; 休日)の利用者数

$E_n$  : 5回目調査日(7月最終日曜日の翌日; 平日)の利用者数

$F_n$  : 6回目調査日(11月3日; 休日)の利用者数

$G_n$  : 7回目調査日(1月第2月曜日; 休日)の利用者数

: 観測日の天候による係数

(観測日が晴天の場合は1、雨天の場合は晴係数(2.850))

河川利用は季節により変化すると考えられるため、基本的には各季節で実施した調査日の利用者数に各季節の日数(休日、土曜日、平日の別)を乗じて年間の利用者数を算出する。

春: 3/1~5/31 92日間

夏: 6/1~8/31 92日間

秋: 9/1~11/30 91日間

冬: 12/1~2/28(29) 90(91)日間

具体的な算出方法を以下に示す。

この計算において、必要な係数は平日係数、雨係数、晴係数であり、平日係数は年度内の調査結果で決定され、後者2つは既往の調査結果からそれぞれ0.351、2.850と当面設定する。

また、季節別に休日、土曜日、平日の天候を通算で調査しておく必要があるため、調査対象河川もしくは水系ごとにあらかじめ最寄りの気象台を決めておき、この気象台の記録を使うようにする。

なお、3月1日から3月31日の休日・平日等の区分ならびに天候区分は前年度の3月のものを利用する。

#### (1) 平日係数

- ・平日係数は年度内の調査結果より河川ごとに算定する。
- ・平日係数の算定方法は以下のとおりである。

$$\text{平日係数} = \left( \frac{2C_n}{A_n + B_n} + \frac{E_n}{D_n} \right) \div 2$$

ただし、平日係数が1を超える場合は1とする。

#### (2) 雨係数(晴係数)

雨係数(晴係数)は、平成3年4月29日(雨天日)と5月5日(晴天日)の調査結果である、509,441人と1,452,153人の比により、雨係数は0.351、晴係数は2.850(雨係数の逆数)と当面設定する。

年間利用者数は、季節、休・平日、天候ごとに利用者数を推計したものの合計として求める。  
 各観測日の利用者数を以下のようにした場合、季節、休・平日、天候に応じた利用者数は、a) ~ d) に示す各式で表される。

区分	季節	平日・休日	天候	日数	高水敷		水面			水際		堤防
					スポーツ	散策・その他	水上スポーツ	水泳・その他	釣り	釣り	水遊び・その他	散策・その他
観測値	春季	4/29 休日		-	A <sub>1</sub>	A <sub>2</sub>	...					
		5/5 休日		-	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	...					
		5/ 平日		-	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	...					
	夏季	7/ 休日		-	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	...					
		7/ 平日		-	E <sub>1</sub>	E <sub>2</sub>	...					
	秋季	11/3 休日		-	F <sub>1</sub>	F <sub>2</sub>	...					
冬季	1/ 休日		-	G <sub>1</sub>	G <sub>2</sub>	...						
推計値	春季	休日	晴		a <sub>1</sub>	a <sub>2</sub>	...					
			雨		b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	...					
		土曜日	晴		c <sub>1</sub>	c <sub>2</sub>	...					
			雨		d <sub>1</sub>	d <sub>2</sub>	...					
	平日	晴		e <sub>1</sub>	e <sub>2</sub>	...						
		雨		f <sub>1</sub>	f <sub>2</sub>	...						
	小計					...						
	夏季	休日	晴		g <sub>1</sub>	g <sub>2</sub>	...					
			雨		h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	...					
		土曜日	晴		i <sub>1</sub>	i <sub>2</sub>	...					
			雨		j <sub>1</sub>	j <sub>2</sub>	...					
	平日	晴		k <sub>1</sub>	k <sub>2</sub>	...						
		雨		l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	...						
	小計					...						
	秋季	休日	晴		m <sub>1</sub>	m <sub>2</sub>	...					
			雨		n <sub>1</sub>	n <sub>2</sub>	...					
		土曜日	晴		o <sub>1</sub>	o <sub>2</sub>	...					
			雨		p <sub>1</sub>	p <sub>2</sub>	...					
	平日	晴		q <sub>1</sub>	q <sub>2</sub>	...						
		雨		r <sub>1</sub>	r <sub>2</sub>	...						
	小計					...						
	冬季	休日	晴		s <sub>1</sub>	s <sub>2</sub>	...					
			雨		t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	...					
		土曜日	晴		u <sub>1</sub>	u <sub>2</sub>	...					
雨				v <sub>1</sub>	v <sub>2</sub>	...						
平日	晴		w <sub>1</sub>	w <sub>2</sub>	...							
	雨		x <sub>1</sub>	x <sub>2</sub>	...							
小計					...							
年間合計												

a) 春季

$$a_n = \text{春季・休日・晴の日数} \times (A_n \times A + B_n \times B) / 2$$

$$b_n = \text{春季・休日・雨の日数} \times (A_n \times A + B_n \times B) \times \text{雨係数} / 2$$

$$c_n = \text{春季・土曜日・晴の日数} \times (A_n \times A + B_n \times B + 2C_n \times C) / 4$$

$$d_n = \text{春季・土曜日・雨の日数} \times (A_n \times A + B_n \times B + 2C_n \times C) \times \text{雨係数} / 4$$

$$e_n = \text{春季・平日・晴の日数} \times C_n \times C$$

$$f_n = \text{春季・平日・雨の日数} \times C_n \times C \times \text{雨係数}$$

b) 夏季

$$g_n = \text{夏季・休日・晴の日数} \times D_n \times D$$

$$h_n = \text{夏季・休日・雨の日数} \times D_n \times D \times \text{雨係数}$$

$$i_n = \text{夏季・土曜日・晴の日数} \times (D_n \times D + E_n \times E) / 2$$

$$j_n = \text{夏季・土曜日・雨の日数} \times (D_n \times D + E_n \times E) \times \text{雨係数} / 2$$

$$k_n = \text{夏季・平日・晴の日数} \times E_n \times E$$

$$l_n = \text{夏季・平日・雨の日数} \times E_n \times E \times \text{雨係数}$$

c) 秋季

$$m_n = \text{秋季・休日・晴の日数} \times F_n \times F$$

$$n_n = \text{秋季・休日・雨の日数} \times F_n \times F \times \text{雨係数}$$

$$o_n = \text{秋季・土曜日・晴の日数} \times F_n \times F \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$p_n = \text{秋季・土曜日・雨の日数} \times F_n \times F \times \text{雨係数} \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$q_n = \text{秋季・平日・晴の日数} \times F_n \times F \times \text{平日係数}$$

$$r_n = \text{秋季・平日・雨の日数} \times F_n \times F \times \text{雨係数} \times \text{平日係数}$$

d) 冬季

$$s_n = \text{冬季・休日・晴の日数} \times G_n \times G$$

$$t_n = \text{冬季・休日・雨の日数} \times G_n \times G \times \text{雨係数}$$

$$u_n = \text{冬季・土曜日・晴の日数} \times G_n \times G \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$v_n = \text{冬季・土曜日・雨の日数} \times G_n \times G \times \text{雨係数} \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$w_n = \text{冬季・平日・晴の日数} \times G_n \times G \times \text{平日係数}$$

$$x_n = \text{冬季・平日・雨の日数} \times G_n \times G \times \text{雨係数} \times \text{平日係数}$$

利用者数は小数点第一位を四捨五入する。

年間利用者数 = a) ~ d) の各式の合計

ただし、2.3 調査の留意点(1)の ~ を採用して定点および区間観測調査を行った場合は  
 年間利用者数 = a) ~ d) の各式の合計 + 年間イベント参加者数

#### 4. 提出様式

##### 4.1 様式の内容

( 1 ) 調査結果 ( 2 ) 調査結果とりまとめ様式 ( 3 ) 水系における河川利用者調査の結果整理様式、を作成し提出する。

作成にあたっては、文章原稿は、ジャストシステム社ワープロソフト『一太郎』、またはマイクロソフト社ワープロソフト『ワード』、図表原稿はマイクロソフト社表計算ソフト『エクセル』を用いる。

データ(CD-ROM等)もあわせて提出する。

##### ( 1 ) 調査結果

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| ア．有料施設区域利用者数調査票 | ( 調査票 1 ) |
| イ．定点観測調査票       | ( 調査票 2 ) |
| ウ．区間観測調査票       | ( 調査票 3 ) |
| エ．イベント調査票       | ( 調査票 4 ) |

##### ( 2 ) 調査結果とりまとめ様式

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| ア．1 km ピッチでの河川利用者数の集計；項目毎  | ( 様式 A - 1 ) |
| イ．1 km ピッチでの河川利用者数の集計；項目合計 | ( 様式 A - 2 ) |
| ウ．ブロック集計                   | ( 様式 A - 3 ) |
| エ．河川集計                     | ( 様式 A - 4 ) |
| オ．水系集計                     | ( 様式 A - 5 ) |
| カ．地方整備局集計                  | ( 様式 A - 6 ) |
| キ．「川の通信簿」実施箇所利用者数水系集計      | ( 様式 A - 7 ) |

##### ( 3 ) 水系における河川利用者調査の結果整理の様式

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| ア．河川の概要                  | ( 様式 D - 1 )     |
| イ．河川利用の概要                | ( 様式 D - 2 )     |
| ウ．河川利用施設位置図              | ( 様式 D - 3 )     |
| エ．河川利用施設一覧表              | ( 様式 D - 3 - 1 ) |
| オ．利用者数調査結果総括表            | ( 様式 D - 4 )     |
| カ．年間利用者数総括表              | ( 様式 D - 5 )     |
| キ．「川の通信簿」実施箇所利用者数調査結果総括表 | ( 様式 D - 6 )     |
| ク．「川の通信簿」実施箇所年間利用者数総括表   | ( 様式 D - 7 )     |

なお、利根川水系などのように河川の規模が大きく、支川・派川単位で調査結果をまとめるのが適切と判断される河川については、水系単位のほかに支川・派川単位別にとりまとめを行う。



## 4.2 各様式の作成方法

水系様式のうち、(2) 調査結果とりまとめ様式については、本マニュアルの4.1 1日の利用者数の推計の項でとりまとめたものを活用する。

(3) 水系における河川利用者調査の結果整理様式(各様式は参考資料参照)の作成方法については、以下に示す。

### (1) 様式D-1(河川の概要)の作成方法

以下の内容について44文字×18行程度で記述する。

#### ・河川の概要

水源(名称および標高)/流下経路/主要支川名/幹線流路延長/流域面積

#### ・流域の概要

流域構成市町村名/主要市町村名/流域内人口/沿岸市区町村名/山地、平地の比率

#### ・河川の景観および水質の構成

瀬・淵の状況/水質の概要と近年の動向

#### ・高水敷の状況および河川利用施設

高水敷の存在状況/自然的利用と施設の利用の区分/河川利用施設数/有料施設数/利用施設の種類の種類

### (2) 様式D-2(河川利用の概要)の作成方法

以下の内容について、44文字×20行程度で記述する。

#### ・各調査日の利用者数

季節変化/一日利用者数/利用形態(できるだけ詳しく)・分布状況の特徴/背後地・交通手段等との関わり/河川利用施設での利用

#### ・年間利用者数

年間利用者数/一人あたりの年間利用回数/利用形態内訳/利用場所内訳/河川の特徴と利用形態・利用場所との関わり/その他

#### ・前年度調査との比較

### (3) 様式D-3(河川利用施設位置図)の作成方法

#### a. 河川利用施設一覧表

河川区域内利用施設を公園、運動場、ゴルフ場、係留施設、遊歩道、サイクリングロード、トイレ、駐車場、休憩施設(四阿・木陰等)、親水施設、その他の11種類に分類して河川利用施設一覧表:D-3-1(参考資料参照)として整理する。それぞれの種類ごとに図中に表示できるようをつける。当一覧表も成果品として提出する。

#### b. 河川利用施設位置図の作成

河川利用施設位置図の作成については、以下に示すア.原図の作成とイ.河川利用施設位置図の作成の方法を基本とし、作成された図面は画像ファイル(jpg方式)で提出する。

また、作成された原図及び河川利用施設位置図は、次回調査時の河川利用施設位置図のベースとして活用することを前提とし、大きな地形改変等の各河川の状況に応じて見直しを行う

ものとする。

#### ア．原図の作成

直轄管理区間すべてを含む範囲の地形図(縮尺2万5千分の1～5万分の1)を使用して、スキャナー等により画像ファイルとして作成し、出力時にA3サイズで十分認識できる程度の縮尺を任意で設定する。縮尺設定において、直轄管理区間全体が1枚に収まることが望ましいが、各河川の状態に応じて複数枚になることも可とする。原図には方位も入れる。原図も成果品として画像ファイル(jpg方式)で提出する。

#### イ．河川利用施設位置図の作成

原図をベースとして以下の作図及び作表を行う。

直轄管理区間の河道の両岸を太線とし、川幅が狭い場合は1本の川で表示する。a. で作成した河川利用施設一覧表で用いた 囲み数字を用いて施設を表示し、種類別に丸数字に着色する。

河川利用施設	着 色
公園	黄 色
運動場	青 色
ゴルフ場	緑 色
係留施設	赤 色
遊歩道	水 色
サイクリングロード	黒 色
トイレ	茶 色
駐車場	紫 色
休憩施設(四阿・木陰等)	桃 色
親水施設	明るい緑色
その他	橙 色

着色は上記のとおりとする。利用施設が多数あり、表示が困難な場合には適宜、引き出し線を利用する。そして、図中の余白を使って、作成した河川利用施設一覧表を貼り込むものとする。

#### (4) 様式D-4(利用者数調査結果総括表)の作成方法

各地方整備局内の全水系について、様式D-4を作成し、1年間の調査結果を総括する。人口は当該年12月末のものを用いる。

#### (5) 様式D-5(年間利用者数総括表)の作成方法

年間利用者数(推計値)は各地方整備局内の全水系について様式D-5にとりまとめる。

( 6 ) 様式 D - 6 ( 「川の通信簿」実施箇所利用者数調査結果総括表 ) の作成方法

「川の通信簿」実施箇所における河川空間利用者数調査の定点観測結果より、地方整備局内の全水系について、様式 D - 6 を作成し、1 年間の調査結果を総括する。

( 7 ) 様式 D - 7 ( 「川の通信簿」実施箇所年間利用者数総括表 ) の作成方法

「川の通信簿」実施箇所における河川空間利用者数調査の定点観測結果より、年間 7 回の各調査日の結果をもとに、1 年間の利用者数を推計する。

年間利用者数の推計は、前述の様式 D - 5 の作成で示した考え方に準じて行い、地方整備局内の全水系について様式 D - 7 にとりまとめる。

5 . 「川の通信簿」

「川の通信簿」の実施方法については、「川の通信簿」実施マニュアルを参照のこと。

- 参 考 资 料 -

参考資料：調査票 1

有料施設区域利用者数調査票

地整名	事務所名	水系名	河川名	調査日	天候	調査員	所属
	川河川事務所	川	川	2005/5/5(木)			

ブロック	区間	左右岸の別	有料施設名	管理者名	高水敷		水面			水際		堤防
					スポーツ	散策・その他	水上スポーツ	水泳・その他	釣り	釣り	水遊び・	
下流	10.3~11.7km	左岸	ゴルフ	管理財団	120							

参考資料：調査票 2

定点観測調査票

事務所名		水系名・河川名		川水系		川
調査年月日	年 月 日( )	天 候				
ブロック名	( , )	左右岸の別	左・右	区間	km ~	km
区 域	特定利用区域・一般利用区域		自然的利用区域・施設的利用区域			
調査員・所属						

定点が「川の通信簿」実施箇所である場合には、ブロック名欄下段の( )内に「川の通信簿」の実施箇所の番号および名称を記入する。

場 所	利用形態	調査時刻								合計
		時~ 時	時~ 時	時~ 時	時~ 時	時~ 時	時~ 時	時~ 時	時~ 時	
高水敷	スポーツ									
	散策・その他									
水 面	水上スポーツ									
	水泳・その他									
	釣り									
水 際	釣り									
	水遊び・その他									
堤 防	散策・その他									

参考資料：調査票 3

区間観測調査票

事務所名		水系名・河川名	川水系	川
調査年月日	年 月 日( )	天 候		
ブロック名				
調査員・所属				

左右岸別		左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸
区 間		km ~ km	km ~ km	km ~ km	km ~ km	km ~ km	km ~ km
区 域		特・一般(自,施)	特・一般(自,施)	特・一般(自,施)	特・一般(自,施)	特・一般(自,施)	特・一般(自,施)
調査時刻		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
利用形態	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水 面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
		釣り					
	水 際	釣り					
		水遊び・その他					
	堤 防	散策・その他					

参考資料：調査票 4  
 イベント調査票

No	開始		終了		ブロックNo	開催場所		イベントの内容			
	年月日	曜日	年月日	曜日		時間	時間	施設名	イベント名称	主催者	内容
1	2005/1/1	土	2005/1/1	土	3	32.5	33.5	大会			100
2						~	~				
3						~	~				
4						~	~				



参考資料：様式 A - 1

1 km 毎の河川利用者数の集計（項目毎）

河川名： 川 左岸 調査年月日： 平成 年 月 日 天候： (人)

キロ数	合計	水面			水際		高水敷		堤防	施設的 利用区域	自然的 利用区域	有料施設
		水上 スポーツ	水泳・ その他	釣り	釣り	水遊び・ その他	スポーツ	散策 その他	散策 その他			
0.0～1.0												
1.0～2.0												
2.0～3.0												
3.0～4.0												
合計												

参考資料：様式 A - 2

1 km 毎の河川利用者数の集計（項目合計）

河川名： 川 左岸 調査年月日： 平成 年 月 日 天候： (人)

キロ数	河川空間利用者人数									
	合計	利用形態別内訳				利用場所別内訳				
		水遊び	釣り	スポーツ	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	
0.0～1.0										
1.0～2.0										
2.0～3.0										
3.0～4.0										
合計										

参考資料：様式 A - 3  
ブロック集計

ブロック名			調査日	年	月	日( )	天候	(人)
区域	場所	利用形態	利用者数	小計			合計	
一般区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他					
		水面	水上スポーツ 水泳・その他					
			釣り					
		水際	釣り 水遊び・その他					
	堤防	散策・その他						
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他					
		水面	水上スポーツ 水泳・その他					
			釣り					
水際		釣り 水遊び・その他						
特定区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他					
		水面	水上スポーツ 水泳・その他					
			釣り					
		水際	釣り 水遊び・その他					
	堤防	散策・その他						
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他					
		水面	水上スポーツ 水泳・その他					
			釣り					
水際		釣り 水遊び・その他						
堤防	散策・その他							
有料施設区域	高水敷	スポーツ 散策・その他						
	水面	水上スポーツ 水泳・その他						
		釣り						
	水際	釣り 水遊び・その他						
堤防	散策・その他							
一般 + 特定 + 有料	施設 + 有料	高水敷	スポーツ 散策・その他					
		水面	水上スポーツ 水泳・その他					
			釣り					
		水際	釣り 水遊び・その他					
	堤防	散策・その他						
	自然的	高水敷	スポーツ 散策・その他					
		水面	水上スポーツ 水泳・その他					
			釣り					
水際		釣り 水遊び・その他						
堤防	散策・その他							
ブロック全体	場所別	高水敷	スポーツ 散策・その他					
		水面	水上スポーツ 水泳・その他					
			釣り					
		水際	釣り 水遊び・その他					
	堤防	散策・その他						
	形態別	スポーツ	スポーツ					
		水泳・水遊び	水上スポーツ 水泳・その他					
			水遊び・その他					
釣り		水面 水際						
散策等	散策等 その他							

参考資料：様式 A - 4

河川集計

河川名				調査日	年	月	日( )	天候	(人)	
区域	場所	利用形態	利用者数	小計		合計				
一般区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他							
		水面	水上スポーツ 水泳・その他							
			釣り							
		水際	釣り 水遊び・その他							
	堤防	散策・その他								
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他							
		水面	水上スポーツ 水泳・その他							
			釣り							
水際		釣り 水遊び・その他								
特定区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他							
		水面	水上スポーツ 水泳・その他							
			釣り							
		水際	釣り 水遊び・その他							
	堤防	散策・その他								
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他							
		水面	水上スポーツ 水泳・その他							
			釣り							
水際		釣り 水遊び・その他								
堤防	散策・その他									
	有料施設区域	高水敷	スポーツ 散策・その他							
		水面	水上スポーツ 水泳・その他							
			釣り							
水際		釣り 水遊び・その他								
堤防	散策・その他									
	一般+特定+有料	施設+有料	高水敷	スポーツ 散策・その他						
			水面	水上スポーツ 水泳・その他						
		水際		釣り						
釣り 水遊び・その他										
自然	高水敷	スポーツ 散策・その他								
	水面	水上スポーツ 水泳・その他								
		釣り								
	水際	釣り 水遊び・その他								
堤防	散策・その他									
	河川全体	場所別	高水敷	スポーツ 散策・その他						
			水面	水上スポーツ 水泳・その他						
				釣り						
水際			釣り 水遊び・その他							
堤防	散策・その他									
形態別	スポーツ	スポーツ								
	水泳・水遊び	水上スポーツ 水泳・その他								
		水遊び・その他								
	釣り	水面								
散策等	水際 散策等 その他									

参考資料：様式 A - 5

水系集計

水系名				調査日	年	月	日( )	天候	(人)
区域	場所	利用形態	利用者数	小計		合計			
一般区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他						
		水面	水上スポーツ 水泳・その他						
			釣り						
		水際	釣り 水遊び・その他						
	堤防	散策・その他							
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他						
		水面	水上スポーツ 水泳・その他						
			釣り						
水際		釣り 水遊び・その他							
特定区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他						
		水面	水上スポーツ 水泳・その他						
			釣り						
		水際	釣り 水遊び・その他						
	堤防	散策・その他							
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ 散策・その他						
		水面	水上スポーツ 水泳・その他						
			釣り						
水際		釣り 水遊び・その他							
堤防	散策・その他								
	有料施設区域	高水敷	スポーツ 散策・その他						
		水面	水上スポーツ 水泳・その他						
			釣り						
水際		釣り 水遊び・その他							
堤防	散策・その他								
	一般+特定+有料	施設+有料	高水敷	スポーツ 散策・その他					
			水面	水上スポーツ 水泳・その他					
		水際		釣り					
釣り 水遊び・その他									
自然	高水敷	スポーツ 散策・その他							
	水面	水上スポーツ 水泳・その他							
		釣り							
	水際	釣り 水遊び・その他							
堤防	散策・その他								
	水系全体	場所別	高水敷	スポーツ 散策・その他					
			水面	水上スポーツ 水泳・その他					
				釣り					
水際			釣り 水遊び・その他						
堤防	散策・その他								
形態別	スポーツ	スポーツ							
	水泳・水遊び	水上スポーツ 水泳・その他							
		水遊び・その他							
	釣り	水面							
散策等	水際 散策等 その他								

参考資料：様式 A - 6 ( 1 )

( 1 ) 利用形態別人数

地整名		調査日		年	月	日 ( )			
水系名	沿川市区町村数			河川利用者人数(人/日)					
	市	区	町	沿川市区町村人口	スポーツ	釣り	水遊び	散策等	合計
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	市	区	町	村					
	合計								

参考資料：様式A - 6 ( 2 )

( 2 ) 利用場所別利用者数

地整名	調査日	年	月	日	調査対象河川区域内訳									河川利用者人数(人/日)				
水系名	面積(km <sup>2</sup> )		延長(km)		堤防	高水敷	水面	合計	堤防	高水敷	水面	合計	堤防	高水敷	水面	合計		
	堤防	高水敷	水面	合計													堤防	高水敷
					堤防	高水敷	水面	合計	堤防	高水敷	水面	合計	堤防	高水敷	水面	合計		

参考資料：様式A - 6 ( 3 )

( 3 ) 利用区域別利用者数

地整名	調査日	年	月	日	( )	面積 (km <sup>2</sup> )		延長 (km)		河川利用者人数 (人/日)	
						施設の 利用区域	自然の 利用区域	合計	施設の 利用区域	自然の 利用区域	合計
水系名											
合計											

「川の通信簿」実施箇所利用者数水系集計

水系名	実施箇所名	季節	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者数								
						スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防					
		春季	4月29日 休日															
			5月5日 休日															
			5月 日 平日															
		夏季	7月 日 休日															
			7月 日 平日															
		秋季	11月3日 休日															
		冬季	1月 日 休日															
		春季																
		夏季																
		秋季																
		冬季																
		春季																
		夏季																
		秋季																
		冬季																
		春季																
		夏季																
		秋季																
		冬季																



(1) 河川の概要

川は水源を 県と 県の県境の油坂峠(717m)に発し、 峠を経て大野盆地を南から北へ流れ、 市で 川と合流し、 町にて 平野に入り西流する。そして、 市地先において 町 池(1,100m)より流下する 川と合流し、 町で日本海に注ぐ幹川流路延長116km、流域面積2,930km<sup>2</sup>の河川である。

流域は 県( 町)および 県( 市、 町など)の5市17町3村より構成され、流域内の人口は63万人、沿川市町村人口は59万人である。全流域ののうち山地が73%、平地は25%を占めている。

盆地より上流は、 山脈、 山地に囲まれて峡谷を形成している。河道の状況は、盆地より 橋までは多くの瀬と淵が存在し、中州がみられるなど中流域の様相を呈している。河川水は、上流域では ダムなどのダム群により貯留され、水力発電が行われている。一方、穀倉地帯で知られている下流域の 平野においても農業用水や上水道用水、工業用水として利用されている。 地点での平成 年の水質はBOD75%値0.9mg/lであり、ここ数年大きな変動はなく、横ばい状態である。

高水敷は右岸で2km~22km および 24km~29km、左岸では4km~12km、および 15km~27km 付近に多く分布している。高水敷面積に対する河川利用施設(公園、グラウンド、自転車道等)の占有面積の割合はそれぞれ1.1%、0.9%、0.2%となっている。

河川利用は上流から下流まで自然的利用が主として行われており、休日には釣りや散策などの利用が多い。また、河川利用施設は全部で5箇所あり、いずれも無料である。利用施設は、公園が1箇所、運動場が3箇所、自転車道も整備されている。

(2) 河川利用の概要

各調査日の利用者数

川における季節ごとの河川利用者数をみると、夏季の 月 日に×××人が河川を利用しており最も多い。冬季は日本海型気候で降雪が多く、堤防敷などで子どものスキー、ソリ遊びが行われている。

利用形態別にみると、 月 日の釣りが最も多くなっているが、 川はアユ釣りの本場として全国的にも有名で、シーズン中は釣り客が多い。

夏季のスポーツ利用は××人以上で、活発に利用されているのは中流部(右岸 19km 付近)の 公園のスポーツ施設によるもので、野球、テニス等が盛んである。

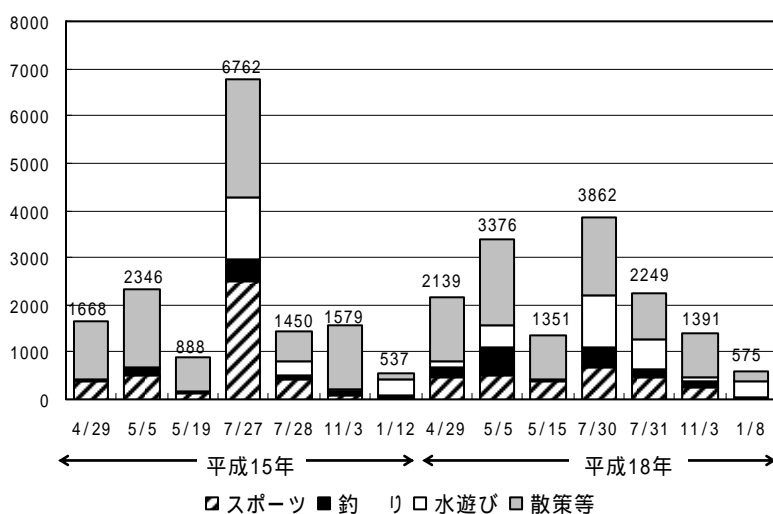


図 . × × 各調査日の利用者数

川における河川利用実態は、上流から下流にかけて全域を通して散策等が最も多く、次いで釣りの利用となっている。

各調査日とも利用者数が多い地点は、春季の休日で右岸 3 km、左岸 1 km、左岸 20km、夏季の左岸 20km、秋季の左岸 20km である。これらの地点は、河川公園がある箇所や釣りの良場となっている箇所である。

利用形態別にみると、夏季のアユ釣りシーズンには釣り客で 1 日に 5000 人以上が利用している。また、河口部(0~2km)においても、釣りおよび水上スポーツで盛んに利用されている。

## 河川利用者数

川の年間河川空間利用者数（推計）は約××万人である。沿川市区町村人口からみた年間平均利用回数は約0.9回/人となっている。









利用形態別では、散策等が××%と最も多く、次いで水遊びが××%、スポーツが××%と続き、合計で9割を占める。釣りは××%にすぎない。

利用場所別には高水敷が××%と最も多く、次いで水面が××%と、両方で××%となっている。

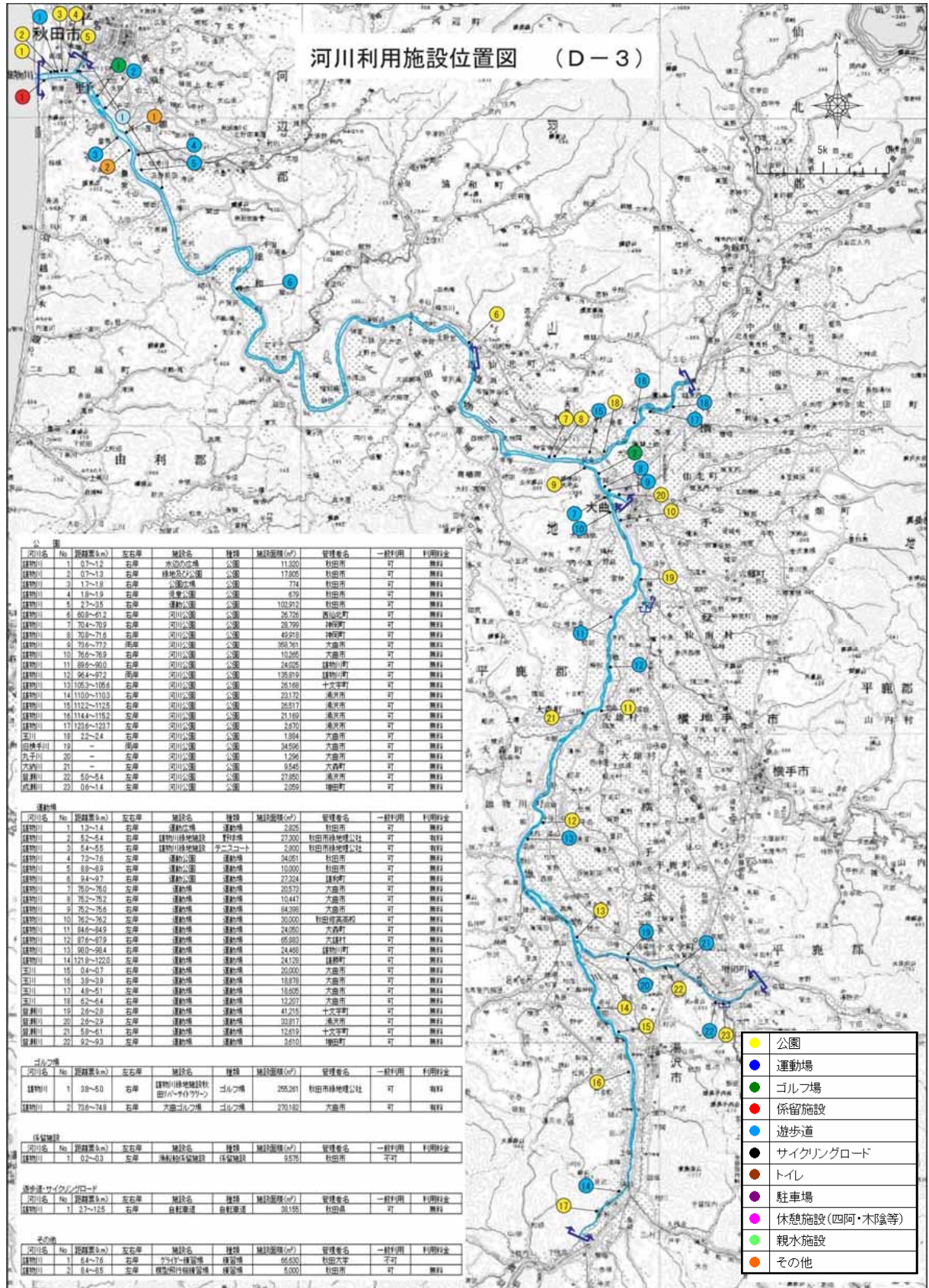
平成18年度は平成15年度と比べ、夏季休日の利用者が減少した他は、総利用者数の季節変動はほぼ同じである。利用形態別にみると夏季・秋季における釣りの利用者が減り、スポーツの利用者が増えている。

以上のように、川は地方都市周辺を流下しているため、河川空間利用者数からみれば低い。自然型河川と清流を利用した散策等、水遊びが活発に行われており、今後も高水敷の自然を利用した整備が各所で計画されており、河川空間の利用は年々増加していくと思われる。

表 .×× 川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計値（千人）		利用状況の割合	
		平成15年度	平成18年度	平成15年度	平成18年度
利用形態別	スポーツ 	89	75		
	釣り 	22	31		
	水遊び 	53	71		
	散策等 	198	200		
	合計	361	376	水遊び(15%)	釣り(6%)
利用場所別	水面 	29	52		
	水降 	46	56		
	高水敷 	255	235		
	堤防 	32	34		
	合計	361	376		
				高水敷(62%)	水降(15%)

河川利用施設位置図



参考資料：様式D - 3 - 1

施設一覧表

地方整備局名	事務所名	水系名	河川名
地方整備局	河川事務所	川	川

公園

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

運動場

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

ゴルフ場

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

係留施設

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

遊歩道

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

サイクリングロード

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

トイレ

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

駐車場

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

休憩施設（四阿・木陰等）

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

親水施設

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

その他

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km <sup>2</sup> )	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

参考資料：様式D - 4

利用者数調査結果総括表

水系名	沿川市区町村人口	調査対象河川 区域面積(ma)	季節	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者数				利用区域別利用者数		
							スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	施設の	自然的	
			春季	4月29日 休日													
			春季	5月5日 休日													
			夏季	5月 日 平日													
			夏季	7月 日 休日													
			秋季	7月 日 平日													
			冬季	11月3日 休日													
			冬季	1月 日 休日													
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														

参考資料：様式D - 5

年間利用者数総括表

水系名	沿川市区 町村名	調査対象 河川	合計	利用形態別利用者数		利用場所別利用者数		利用区域別利用者数												
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	施設の	自然の							
川																				

「川の通信簿」実施箇所 利用者数調査結果総括表

水系名	実施箇所名	季節	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数			利用場所別利用者数									
						スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防					
		春季	4月29日 休日															
			5月5日 休日															
			5月 平日															
		夏季	7月 休日															
			7月 平日															
		秋季	11月3日 休日															
		冬季	1月 休日															
		春季																
		夏季																
		秋季																
		冬季																
		春季																
		夏季																
		秋季																
		冬季																
		春季																
		夏季																
		秋季																
		冬季																





## <参考> 「河川水辺の国勢調査」実施要領

国土交通省河川局治水課

### 第1 目的

この要領は、河川事業、河川管理を適切に推進するための河川水辺の国勢調査の実施に関し、基本的事項を定めることにより、河川水辺の国勢調査の円滑な推進を図ることを目的とする。

### 第2 定義

本要領において、「河川水辺の国勢調査」とは、河川を環境という観点からとらえた定期的、継続的、統一的な河川に対する基礎情報の収集整理のための調査をいう。

### 第3 本要領の適用範囲

本要領は、1級河川および2級河川の区間（ダム区間を除く。）について適用する。

### 第4 河川水辺の国勢調査の調査項目と内容

河川水辺の国勢調査の調査項目と内容は次のとおりとする。

- (1) 河川調査  
河道の瀬と淵の状況、水際部の状況、河川横断施設の状況等の河川環境からみた河川状況の調査。
- (2) 生物調査  
魚介類調査  
河川内の魚介類生息状況調査。  
底生動物調査  
河川の水域における底生動物生息状況の調査。  
植物調査  
河川内の植物に関する植生調査等の生育状況の調査。  
鳥類調査  
河川内の陸上の昆虫等の生息状況調査。  
両生類・爬虫類・哺乳類調査  
河川内の両生類、爬虫類、哺乳類の生息状況調査。  
陸上昆虫類等調査  
河川内の陸上の昆虫類等の生息状況調査。
- (3) 河川空間利用実態調査  
河川空間利用者数、利用状況等河川空間の利用実態の調査。
- (4) 河川水辺総括資料作成調査  
上記(1)から(3)までの調査結果をとりまとめた資料の作成。

### 第5 1級河川の指定区間外区間における調査の実施

地方整備局および北海道開発局（以下、「地方整備局等」という。）は、以下の各号に基づき1級河川の指定区間外区間について河川水辺の国勢調査を実施するものとする。

- (1) 河川調査および河川空間利用実態調査  
河川調査および河川空間利用実態調査については、当分の間、原則として各水系について毎年実施するものとする。
- (2) 生物調査  
生物調査については、以下の から により調査を実施するものとする。  
各水系について、生物調査の6調査項目の全てが5ヶ年で1巡するよう実施する。  
調査に関するノウハウを毎年継続的に向上させるため、地方建設局等毎に管内を5水系程度の範囲にまとめてブロック区分を行い、生物調査の6調査項目のそれぞれがブロック内のいずれかの水系で毎年実施されるよう地方整備局等管内のローテーションを組んで実施する。  
各水系における各調査項目の調査は、原則として単年度で当該水系の一連の調査が完了するよう実施することを原則とするが、植物調査等調査範囲が広いもの、複数年度にまたがって調査するのが適切なもの等単年度で調査を完了できない調査項目については、複数年度にまたがって調査を実施しても良い。  
各水系の調査の実施にあたっては、河川に生息する生物の生態の総合的な考察の参考とするため、植生等生物の生息が多様で、生物調査の6調査項目全ての現地調査を総合的に実施するのに適当な地点を全体調査地点として各水系毎に数地点選定する。  
底生動物調査は、できるだけ魚介類調査と同一年度に実施する。
- (3) 河川水辺総括資料作成調査  
河川水辺総括資料作成調査は、他の項目の実施状況を勘案して適宜実施するものとする。

### 第6 1級河川の指定区間における調査の実施

- (1) 魚介調査の実施  
都道府県は、1級河川の指定区間について、本川および本川に準ずる規模の支川の区間を中心に、河川水辺の国勢調査のうち魚介類調査を以下の により実施するものとする。  
調査は、原則として当該水系で地方整備局等が業界類調査を実施するのと同一年度に実施する。  
調査は、調査時期、調査地点、調査方法等調査の基本的事項について、関係する地方整備局等と十分調整しつつ実施する。

- (2) その他の生物調査項目の実施  
都道府県は、1級河川の指定区間について、特に必要な場合には、関係する地方整備局等とあらかじめ調整の上、魚介類調査以外の生物調査の調査項目を実施することができるものとする。
- (3) 地方整備局等による調査結果のとりまとめ  
地方整備局等は、1級河川の指定区間で都道府県が行った河川水辺の国勢調査の結果を、当該水系について地方整備局等が行った調査の結果とあわせて、当該水系全体の調査結果としてとりまとめるものとする。

## 第7 2級河川における調査の実施

- (1) 河川水辺の国勢調査水系の登録  
都道府県（河川法施行令第41条に基づく指定河川については北海道開発局。）は、次のから のいずれかに該当する2級水系のうち河川水辺の国勢調査を実施すべき水系を選定し、「河川水辺の国勢調査水系」（以下、単に「登録水系」とする。）として河川局治水課に登録するものとする。  
流域面積がおおむね200km<sup>2</sup>以上（但し、北海道についてはおおむね500km<sup>2</sup>以上）の水系であって相当規模の河川改修事業を実施中（実施が明らかな場合を含む。）の水系であること。  
魚がのぼりやすい川づくり等水系の広い区域にわたった多自然型の川づくりに取り組んでいる水系であること。  
その他、適切な河川環境管理のため動植物種の生息状況の把握等が特に必要な河川の存する水系であること。
- (2) 魚介類調査の実施  
登録水系においては、本川および本川に準ずる規模の支川の区間を中心に、河川水辺の国勢調査のうち魚介類調査を実施するものとする。
- (3) その他の調査項目の実施  
登録水系においては、当該水系の河川環境の特性に応じて、特に必要な場合には魚介類調査以外の生物調査の調査項目を実施することができるものとする。
- (4) 調査の実施頻度  
登録水系における調査は、当該水系で実施する各調査項目を5ヶ年に1回実施するものとする。

## 第8 学識経験者の助言

- (1) 地方整備局等  
地方整備局等は、河川調査および生物調査の実施にあたっては、第5(2)の地方整備局等のブック毎に当該調査に関し専門的知識を有する学識経験者等を「河川水辺の国勢調査アドバイザー」として委嘱し、調査計画、調査実施、調査成果等についての助言を得つつ実施するものとする。
- (2) 都道府県  
都道府県は、調査計画、調査実施、調査成果等について(1)の「河川水辺の国勢調査アドバイザー」等の助言を得つつ調査を実施するものとする。

## 第9 調査実施年度の作成

地方整備局等及び都道府県は、あらかじめ前年度末までに、管内の河川の生物調査について、当該年度の実施計画及び以降5ヶ年間の実施予定を作成するものとする。

## 第10 調査結果の報告

地方整備局等及び都道府県は、毎年度、調査結果をとりまとめて治水課担当官宛報告するものとする。なお、治水課担当官から随時調査結果の報告を求める場合があるものとする。

## 第11 その他

その他この要領の実施に必要な事項については、別途定める。

## 第12 附則

平成3年6月25日建設省河治発第38号に基づく河川水辺の国勢調査実施要領は廃止する。

## 第13 附則

本要領は、平成5年1月26日から施行する。